

中央区ひとり親家庭実態調査（案）

調査について

- この調査票は、区内にお住まいの児童育成手当を受給されている世帯を対象に、お送りしています。
- この調査は、**無記名方式**で行います。回答者個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、今後のひとり親家庭への支援事業を検討する際の基礎資料とします。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- この調査票は●ページ、●問あります。
- 調査回答に要する時間はおおむね●分程度です。

ご記入にあたってのお願い

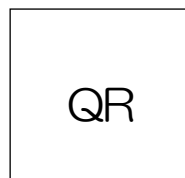
- ご記入は、個人を対象にしていますので、ご本人（封筒のあて名の方）に回答をお願いいたします。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください（切手は不要です）。また、Web（パソコン、スマートフォン等）での回答も可能です。
※パソコン、スマートフォン等から回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

【回答期限】 郵送：●月●日（●）までにポストに投函
Web：●月●日（●）午後11時59分まで

Web(パソコン、スマートフォン等)での回答方法 ※詳細は別紙参照

- 1 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のパスワード・IDを使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください。）

URL : <https://~~~~~>



パスワード：
I D ：

（IDは無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。）

【問い合わせ先】

★調査の目的・内容について

中央区福祉保健部子育て支援課計画推進等担当係長 TEL 03-3546-5444

★調査方法・インターネット回答等について

株式会社 生活構造研究所 TEL 03-5275-786●

受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。）

※問15で「2. ひとり親になる前、仕事をしていなかった」を選んだ方におうかがいします。

問15-3 仕事をしていなかった理由を教えてください。(1つに○)

1. 家事・育児に専念したかったから
2. 働きたかったが、家事・育児との両立ができなかったから
3. 働きたかったが、子どもの親(相手方)に働くことを反対されたから
4. 働きたかったが、仕事が見つからなかったから
5. 働く必要がなかったから
6. その他〔 〕

※すべての方におうかがいします。

問16 あなたは、現在働いていますか。(1つに○)

1. 働いている → 問17へ
2. 働いていない → 問18(P.7)へ

問17 問16で「1. 働いている」を選んだ方あなたのお仕事のことについておうかがいします。

(1) あなたのお仕事は次のどれにあたりますか。(1つに○)

1. 常勤(正社員)
2. パート・アルバイト
3. 自営業・自営業手伝い
4. 派遣・契約社員
5. その他〔 〕

(2) 現在の仕事の勤務時間などの状況について、教えてください。

※①及び②の空欄には数字を、②は午前と午後のいずれかに○も記入、③～⑥のあてはまる番号それぞれ1つに○を、それぞれご記入ください。

①就労日数	週に()日
②平日の出勤及び帰宅時刻 ※最も多い時間帯をお書き ください	出勤時刻【午前 午後】()時()分頃 帰宅時刻【午前 午後】()時()分頃 例：【午前】午後(9)時(00)分頃
③22時以降の深夜勤務	1. 定期的にある 2. 不定期にある 3. なし
④土曜日勤務	1. 定期的にある 2. 不定期にある 3. なし
⑤日曜・祝日勤務	1. 定期的にある 2. 不定期にある 3. なし
⑥副業(主な仕事以外にしている アルバイト、内職等の数)	1. 1つしている 3. していない 2. 2つ以上している

※問 23 は、問 9 で「2. 死別」「3. 消息不明」以外を選んだ方におうかがいします。

4. 養育費について、おうかがいします。

問 23 養育費の支払いについて、あなたはどのような約束をしましたか。(1つに○)

1. 特に取り決めをしなかった	→ 問 23-1 へ
2. 書面を取り交わした	→ 問 23-2 へ
3. 口頭で約束した	
4. その他〔	
〕	

※問 23 で「1. 特に取り決めをしなかった」を選んだ方におうかがいします。

問 23-1 養育費について「特に取り決めをしなかった」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから	
2. 相手と関わりたくなかったから	
3. 取り決めの交渉がわずらわしいから	
4. 相手に養育費を請求できるとは思わなかったから	
5. 自分の収入で経済的に問題がないから	
6. 相手に支払う意思や能力がないと思ったから	
7. 子どもを引き取った方が、養育費を負担するものだと思っていたから	
8. 自分で選んだ道なので最初からあてにしなかったから	
9. 現在交渉中または交渉予定である	
10. その他〔	〕

→ 問 24 (P.10) へ

※問 23 で「2. 書面を取り交わした」「3. 口頭で約束した」「4. その他」を選んだ方におうかがいします。

問 23-2 現在、あなたは養育費を受け取っていますか。(1つに○)

1. 受け取っている	→ 問 23-3 へ
2. 受け取っていない	→ 問 23-4 へ

問 23-3 問 23 での約束は守られていますか。(1つに○)

1. きちんと守られている	3. あまり守られていない
2. 大体守られている	4. まったく守られていない

※問 23-2 で「2. 受け取っていない」を選んだ方におうかがいします。

問 23-4 養育費を受け取っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 請求する相手がいない	4. 相手に支払い能力がなくなった	
2. 自ら受け取りを拒否した	5. 履行期間が終了した(子が成長した)	
3. 取り決めた約束が破棄された	6. その他〔	〕

※問24は、問9で「2. 死別」「3. 消息不明」以外を選んだ方におうかがいします。

5. 面会交流について、おうかがいします。

問24 離別した（あるいは未婚）の夫（妻）と子どもの面会交流について、あなたはどのような約束をしましたか。（1つに○）

1. 特に取り決めをしなかった	→ 問24-1へ
2. 書面を取り交わした	→ 問24-2へ
3. 口頭で約束した	
4. その他〔 〕	

※問24で「1. 特に取り決めをしなかった」を選んだ方におうかがいします。

問24-1 面会交流について「特に取り決めをしなかった」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから
2. 相手と関わりたくなかったから
3. 取り決めの交渉がわずらわしいから
4. 取り決めの方法が分からなかったから
5. 面会交流を行うことが好ましくないと思ったから
6. 元夫（妻）が面会交流を望まなかったから
7. 面会交流の必要性を感じなかったから
8. 現在交渉中または交渉予定である
9. その他〔 〕

→ 問25 (P.11) へ

※問24で「2. 書面を取り交わした」「3. 口頭で約束した」「4. その他」を選んだ方におうかがいします。

問24-2 現在、子どもとの面会交流を行っていますか。（1つに○）

1. 現在も面会交流を行っている	→ 問24-3へ
2. 面会交流を行っていたことがある	→ 問25 (P.11) へ
3. 面会交流を行っていない	

問24-3 子どもとの面会交流の実施頻度はどの程度ですか。（1つに○）

1. 月2回以上	5. 子どもの夏休み中・冬休み中などの長期休暇中
2. 月1回以上2回未満	6. 別途協議で決めている
3. 2～3か月に1回以上	7. その他〔 〕
4. 4～6か月に1回以上	

問32 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、必要な時に利用したいと思うものをお答えください。(①～⑬の事業ごとに、それぞれ1つに○)

※P17【中央区の主なひとり親向け支援事業一覧】を参照のうえ、ご回答ください。

事業名	制度を知っていた			制度を知らなかった	
	知っており、 利用している (いた)	知っており、 今後利用したい	知っているが、 今後利用する つもりはない	知らなかったが、 今後利用したい	知らなかったが、 今後利用する つもりはない
① ひとり親家庭親子観劇会	1	2	3	4	5
② ひとり親家庭日帰りバス研修	1	2	3	4	5
③ ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4	5
④ ひとり親家庭休養ホーム事業 (日帰り施設・宿泊施設利用料助成)	1	2	3	4	5
⑤ ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	3	4	5
⑥ ひとり親家庭相談	1	2	3	4	5
⑦ ひとり親家庭等学習支援事業	1	2	3	4	5
⑧ 母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付	1	2	3	4	5
⑨ ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	5
⑩ ひとり親家庭高等職業訓練足進給付金	1	2	3	4	5
⑪ 母子生活支援施設(他区の施設)	1	2	3	4	5
⑫ ひとり親家庭への住宅支援	1	2	3	4	5
⑬ その他〔 〕	1	2	3	4	5

問33 あなたが子育てするうえで足りていないと感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもが十分に学習、勉強できる環境	8. 子どもが自由に遊ぶ時間
2. 子どもが安全に生活できる環境	9. 子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境
3. 子どもにとって危険の無い生活	10. 親子で過ごせる場所やイベント
4. 子どもが家族と過ごす時間	11. 子どものゆとりある生活
5. 子どもの自立を促す取組	12. 保護者が自由に過ごせる時間
6. 子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会	13. 地域での支えあい
7. 子どもにとって充実した食生活	14. 子育て経験者からのアドバイス
	15. その他〔 〕

問34 日頃、お子さんを保護者に代わってみてる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる
3. 日常的に友人・知人にみてもらえる
4. 緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる
5. いずれもない

問35 ひとり親になられた後で、お子さんを次のようなところに預けたり、通わせたりしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 保育所 | 7. 子ども家庭支援センター きらら中央 |
| 2. 幼稚園 | 8. 児童館(学童クラブを含む) |
| 3. 認定こども園 | 9. プレディ(放課後子ども教室) |
| 4. 事業所内保育施設、ベビーホテルなどの
認可外保育所 | 10. その他
〔 〕 |
| 5. ベビーシッター | 11. <u>どれも利用したことはない</u> |
| 6. 祖父母や親せきの家 | |

→ 問36 (P.15) へ

※問35で「11. どれも利用したことはない」以外を選んだ方におうかがいします。

問35-1 お子さんを預けたり、通わせたりした主な理由は何ですか。(3つまで選んで○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 自分の仕事のため | 5. 近所の遊び相手不足のため |
| 2. 自営・家業の仕事のため | 6. 子どもの養育に不安があるため |
| 3. 自分や家族が病気のため | 7. 子どもの教育のため |
| 4. 近所の遊び場不足のため | 8. その他〔 〕 |

問35-2 お子さんを預けたり通わせたりして、あなたが不満に思ったことはありますか。

(3つまで選んで○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 保育や教育の時間が短い | 9. 給食がない |
| 2. 保育や教育の内容が良くない | 10. 給食の内容が良くない |
| 3. 夜間に預かってもらえない | 11. 専門の施設・設備ではない |
| 4. 土曜・日曜など、休日に預かってもらえない | 12. 安全管理の体制が不十分 |
| 5. 家から遠い(30分~60分未満) | 13. 子どもが病気の時に預かってくれない |
| 6. 家からとても遠い(60分以上) | 14. その他
〔 〕 |
| 7. 費用がかかる | |
| 8. 先生や保育者との交流が少ない | 15. 特にない |

問36 近所や地域の人とおつきあいは、どの程度ありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. あいさつする程度 | 4. 食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている |
| 2. 時々立ち話をする | 5. 困っている時に相談したり助け合ったりしている |
| 3. 家に上がって話をする | 6. ほとんどつきあいはない |

問37 あなたは、中央区に今後も住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 子どもの小学校入学前まで住み続けたい | 5. 子どもの大学卒業まで住み続けたい |
| 2. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい | 6. ずっと住み続けたい |
| 3. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい | 7. 転出したい |
| 4. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい | |

問38 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 祖父母・兄弟等の親族 | 10. 保健所・保健センター |
| 2. 友人や知人 | 11. 子育てガイドブック |
| 3. 近所の人 | 12. こどもすくすくナビ |
| 4. SNSで知り合った友人 | 13. インターネット |
| 5. 保育所、認定こども園、幼稚園、学校 | 14. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 6. 区役所や区の機関の窓口 | 15. 子育て雑誌 |
| 7. 「区のおしらせ ちゅうおう」やパンフレット | 16. その他〔 〕 |
| 8. 子ども家庭支援センター きらら中央 | 17. 情報の入手先がわからない |
| 9. 児童館 | 18. 情報を必要としていない |

問39 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。(3つまで選んで○)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 子どもの発達や育児、しつけについて | 7. 病気や障害に関する相談窓口 |
| 2. 子ども向けイベント情報 | 8. アレルギーのある子ども向けの情報 |
| 3. 医療機関情報 | 9. 子育てに優しい、子育てしやすい住まいに関する情報 |
| 4. 保育所、幼稚園、学校の紹介・特徴 | 10. 地域の伝統行事(祭り等)などの情報 |
| 5. 経済的支援制度に関する情報 | 11. その他〔 〕 |
| 6. 公園などの遊び場の情報 | |

問40 あなたは、他のひとり親家庭と交流をしたいと思いますか。(1つに○)

- | | | | | |
|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 1.
ぜひ
交流したい | 2.
できれば
交流したい | 3.
どちらとも
いけない | 4.
あまり
交流したくない | 5.
交流
したくない |
|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|-------------------|

問41 あなたが必要と思うひとり親家庭への支援等はどのようなものですか。(3つまで選んで○)

1. 就職・転職に関する情報提供や相談、面接のアドバイスなどの支援を受けられること
2. 就労のための教育訓練・資格取得の費用などを助成してくれること
3. 在宅ワーク（パソコンを使うITやWeb関連の仕事）のスキルを習得するための支援を受けられること
4. 家計管理や子どものしつけ・育児や養育費の取得手続等に関する講習会や、個別相談が受けられること
5. 子どものことや生活のことなど気軽に話（相談）ができること
6. 求職活動中、スキル習得中に保育所、学童等を利用できること
7. 理由を問わずに子どもを一時的に預けられる場所が充実すること
8. ひとり親が定期的に集い、情報交換などを行える場を開催してくれること
9. 低家賃の「ひとり親世帯住宅」の整備や、家賃助成などの住宅のための支援を受けられること
10. 一時的に必要な資金を借りられること
11. 夫の暴力からの避難などの緊急時、一時的に施設で保護してもらえること
12. 施設で母子家庭を保護し、子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援してくれること
13. 子どもの学習支援や進路相談を受けられること
14. 子どもの学費等の奨学金を受けられること
15. 高等学校卒業程度認定試験に合格等のための講座開催など、ひとり親の再チャレンジを支援してくれること
16. その他〔 〕
17. 特にない

問42 質問は以上で終わりです。区のひとり親家庭支援施策に関してご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。●月●日（●）までに、投函してください。（切手不要）

中央区の主なひとり親向け支援事業一覧

事業名	事業の内容
① ひとり親家庭親子鑑賞会	ひとり親家庭の親子を対象とした「親子観劇会」を年 1 回実施しています。
② ひとり親家庭日帰りバス研修	ひとり親家庭の親子を対象に、相互の交流やレクリエーションを目的とした研修を、中央区ひとり親家庭福祉協議会との共催で年 1 回実施しています。
③ ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭などの方が病気やケガなどをしたとき、安心して病院などで受診できるように医療費の自己負担分の一部を助成しています。
④ ひとり親家庭休養ホーム事業 (日帰施設・宿泊施設利用料助成)	ひとり親家庭の方がレクリエーションや休養のために区の指定した施設を利用する際に、利用料金を助成します。
⑤ ひとり親家庭ホームヘルプサービス	ひとり親家庭で日常生活を営むのに著しく支障が生じたときに、ホームヘルパーを派遣します。
⑥ ひとり親家庭相談	専任の相談員(母子父子自立支援員兼家庭・婦人相談員)がひとり親家庭の方々の生活のこと等各種のご相談に応じています。また、必要に応じて各種関係機関と連携しています。
⑦ ひとり親家庭等学習支援事業	ひとり親家庭等の子どもを対象とした無料の学習会を実施しています。ボランティアによる学習の支援や、進路や生活に関する相談を行い、子どもの自立に向けた支援を行います。
⑧ 母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付	母子家庭または父子家庭の生活の安定と、その児童の福祉を図るために、各種資金の貸し付けを行っています。
⑨ ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	母子家庭の母または父子家庭の父の就労促進のため、区が指定する教育訓練講座を受講する場合に、費用の一部を助成しています。
⑩ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	母子家庭の母または父子家庭の父の就業に有利な資格取得のため、1年以上養成機関で修業する場合に、訓練促進給付金を支給します。
⑪ 母子生活支援施設(他区の施設)	母子家庭のための施設として、生活上の問題を抱えているため子どもの養育が十分にできない場合に、母子で入所することができます。
⑫ ひとり親家庭への住宅支援	住宅に困窮しているひとり親家庭を対象に設置している区立住宅です。あき家が発生した場合に募集しています。